

私自身が受けた医療にはあまり中医学は縁
がありませんでした。でも、家族には、2回
大きな出来事があります。

1つは、息子の受けた漢方医療です。息子
は、アレルギー体質で、小さな頃からアトピ
ー性皮膚炎がありました。ぬり薬などを処方
しながらしのいできました。が、小学4年生時
に顔の方にも広がってしまいました。気にし
ない様にといいても、なかなか難かしく、友
人の情報で、良い先生が茨城のほうにいらっしや
うと、こちらで漢方を処方して
いただきました。すると、なんと2〜3回飲み
うらにパーッとよくなっ てしまいました。煎
い薬は、本当にきおく、色もドブネズミ色で

したが、息子は良くなるのがうれしかった様
でちゃんと飲んでいました。

2つめは、手の五十肩です。何度か針治療
で少レずつ良くなっていたが、その針治
療もするころながら、指針をしていただいた
後、びっくりするほど痛みがなくなり、手も
上がり可動域が広がりました。

^{以上}中医学の奥の深さを感じた2つの症例です。

中医学が私にも少レでも、理解することが
できて、また家族や知人に教えることが
できる様になればいいと思い、この学校で
学びたいと考えています。

よろしくお願ひ致します。